

店舗等改装促進事業は継続し、充実すべき

上野議員が文教経済常任委員会で主張

市議会は、5日から常任委員会審査が始まっています。今号では、上野議員が所属している文教経済常任委員会審査の中から、いくつか報告します。

一つは、特別支援教育についてです。上野議員は特別な支援を必要とする児童生徒の実態を聞くと同時に支援体制強化を求めました。

学校教育課などによると、特別な支援を必要とする児童生徒は、特別支援学校で117人、特別支援学級で475人に上るとのことでした。対象となる児童生徒は年々増えていますが、市教委では教育補助員、介

護員などの配置などで体制を強めていく姿勢を示しました。

二つ目は店舗等改装促進事業についてです。上野議員は、委員会資料の中で、「店舗の改装や事業用設備の更新等が促進され、各店の集客力や事業効果が向上したほか、市内施工業者の受注機会の増加にもつながった」と記載されていることをとりあげ、「取組の成果で評価されている。廃止でなく、充実をすべきだ」と訴えました。産業観光交流部長は、「効果がより長続きするようにしたい」とのべ、注目されました。

三つ目はJホールディングスについてです。上野議員は「一つひとつの会社は頑張っているが、経営改善のための全体の交流をするとか、お互いに教訓を出し合って話し合うとか、そういうものはやられているか」と質問しました。

施設経営管理室長は、「これまでも(経営改善を)やっては来ているが形となってあらわれていない。一番最初に事業子会社から負担金を徴し、Jホールディングスがそれで回ることを考えていたが、そういう仕組みができていなかった。事業子会社の経営指導をし、経営改善したところから、負担金を徴する本来の姿に戻るよう努力している」と答えていました。

上の写真は文教経済常任委員会で質問する上野議員と厚生常任委員会で質問する橋本正幸議員です。橋本議員と橋爪議員の委員会での発言については追って報告します。



お詫びと訂正

先週号のうち、一部地域に配布した紙面で、現在の上越市議会議員の議員報酬が「448,000円」となっておりましたが、正しくは「440,800円」です。お詫びし、訂正いたします。

日本共産党議員団の一般質問

【橋本正幸議員】(16番目。24日の予定)

●農業問題について

- (1) 担い手確保の現状と課題について
- (2) 中山間地における農地の荒廃化と対策

【上野公悦議員】(20番目。25日の予定)

●消費税増税問題について

- (1) 消費税増税の時期が迫るなかで。市内事業者の対応状況は。また、事業者の声をどう捉えているか。消費税増税は中止するよう直ちに国に申し入れるべきだ。
- (2) プレミアム付き商品券事業について。購入場所や使用できる期間、終了時期は。対象者はどうなるか。事業実施のための準備等の進捗状況は。

●交通弱者対策について

- (1) 交通権や移動権の保証など、交通弱者対策の議論はどうなっているのか。
- (2) 電動アシスト付き自転車購入費補助制度を設けてはどうか。

【橋爪法一議員】(21番目。25日の予定)

●加齢性難聴への支援と聞こえのバリアフリー

- (1) 聞こえのバリアフリーの重要性
- (2) 聴力低下の早い段階からの補聴器使用
- (3) 補聴器使用を進めるための具体的な支援

●「核のごみ」の地層処分について

- (1) 「科学的特性マップ」に関する認識
- (2) 公正中立な第三者機関による総合的な検討

●地域スポーツ活動の推進について

- (1) ナイター設備の見直し

日本共産党上越市議員団ニュース

No.638 2019年9月15日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)